

秋 田 県 昔 語 り

三 湖 伝 説

【 十 和 田 湖 】



【小坂町】

十和田湖と八郎太郎

秋田・青森にまたがり、春の桜から新緑や紅葉、絶景の冬景色と四季折々様々な景観を見せてくれる観光名所。遊覧船や展望台から十和田湖を眺め、スケールの大きさを体感するのもおすすめ。

八郎太郎と南祖坊（なんそのぼう）が十和田湖の主を決めるため、七日七晩にわたる壮絶な戦いが繰り広げられた地でもある。

戦いの末、南祖坊が勝利して永遠のすみかとなったと伝わっている。



八郎太郎生誕の地[鹿角市]

鹿角市十和田草木保田にある、三湖伝説の主人公「八郎太郎」が生まれたとされる地。近くには産湯でもあり、八郎太郎が飲んで大きくなったと伝わる「桂の井戸」がある。
■問/十和田八幡平観光物産協会 ☎0186-23-2019

297 654 594



集宮神社[鹿角市]

南祖坊に負け、十和田湖を追い出された八郎太郎。生まれ故郷の鹿角に住むため湖を作ろうとする八郎太郎に反対する鹿角の神々が集った場所と言われている。
■問/十和田八幡平観光物産協会 ☎0186-23-2019

297 681 611



大日神社[大館市]

僧侶・了観が住んでいた社。戒律を破ったため、大蛇の祟りを受け、鹿角に移り住んだ。その九代目の子孫が八郎太郎と伝わっている。
■問/☎0186-56-2312

229 388 371



七座山(ななくらさん)[能代市]

鹿角に湖をつくらうとした八郎太郎を追い出すため、七座山の天神と八郎太郎が力比べをしたといわれている。七座山はきみまち阪公園から眺めることができる。
■問/二ツ井町観光協会 ☎0185-73-5075

395 751 784 (きみまち阪公園)

秋 田 県 昔 語 り

三 湖 伝 説

【 八 郎 潟 】



【 潟 上 市 ・ 八 郎 潟 町 ・ 男 鹿 市 ・ 三 種 町 】

八 郎 太 郎 物 語

かつて琵琶湖に次いで国内第2位の大きさを誇っていた八郎潟。
たくさんの魚が獲れることから、干拓で姿を変えた今でも釣り好きが集まる。
十和田湖での戦いに負け、鹿角にすみかを作ろうと試みるも天神に邪魔され、
力を落としていた八郎太郎だが、天瀬川に住む夫婦が親切にしてくれたことがきっかけで、
この地に大きな湖を作り八郎潟の主となったと伝わっている。



八郎足洗いの井戸
[潟上市]

田沢湖にいるたつこに
会うため、八郎太郎が身
だしなみを整えたと言わ
れる井戸。潟上市の文化
財に指定されている。
■問/潟上市教育委員会
☎018-853-5363

88 853 486



夫殿(おとど)の岩窟
(いわや)[八郎潟町]

二人の美しい姉妹と修験者
(夫殿)の悲恋物語が伝わる
洞窟。後に夫殿=八郎太郎
の化身とも言われており、八
郎太郎伝説の地でもある。
■問/八郎潟町観光協会
☎018-875-5803

456 819 843



八龍神社[男鹿市]

八郎太郎が南祖坊との争
いに負けて八郎潟をつく
り、潟の主となった伝説が
残されている神社。八郎太
郎を八龍権現(はちりゅうご
んげん)として祀っている。
■問/男鹿総合観光案内所
☎0185-35-5300

88 850 369

左記マークはマップコードを表します。マップコードとは日本全国の場所を特定した番号のことです。カーナビの目的地設定の際に入力することで、自然景勝地など住所や電話番号のない場所でも特定することができます。※「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

秋 田 県 昔 語 り

三 湖 伝 説

【 田 沢 湖 】



【仙北市】

たつこ姫伝説

美しいリ色の湖面と、湖畔に佇む黄金色のたつこ像。季節ごとに表情豊かでどこか神秘的な田沢湖には、永遠の美を願ったたつこが飲んで龍となった泉など伝説にまつわる名所が多い。水深約423メートルと日本一の深さを誇る。八郎太郎とたつこの愛のように湖も年々深くなり、二人がいる田沢湖は凍らないといわれている。そして、凍った八郎潟は八郎太郎が帰ると氷が割れて春が訪れるとも伝わっている。


※掲載している画像は時期や天候により実際のものとは異なる場合があります。



御座石神社【仙北市】

室町時代に創建された歴史ある社(やしろ)。境内の「瀧頭(かたがしら)の霊泉」や「鏡石」はたつこが永遠の美を願い龍に姿を変えたと伝わる名所。

■問／田沢湖観光情報センター「フォレイク」
☎0187-43-2111


 280 888 731



浮木神社【仙北市】

田沢湖畔にあり、縁結びにご利益があるお守りが人気。八郎太郎がたつこに会いに行くときにこの神社の辺りから湖に入って行ったと伝わっている。

■問／田沢湖観光情報センター「フォレイク」
☎0187-43-2111


 280 766 256



瀧頭の霊泉【仙北市】

御座石神社の近くに祀られており、永遠の美しさを願ったたつこが神のお告げでこの泉の水を飲み続け龍になったと伝えられている。

■問／田沢湖観光情報センター「フォレイク」
☎0187-43-2111

 280 888 731



左記マークはマップコードを表します。マップコードとは日本全国の場所を特定した番号のことです。カーナビの目的地設定の際に入力することで、自然景勝地など住所や電話番号のない場所でも特定することができます。※「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

湖にひそみ 空に翔る 壮大な三湖伝説

十和田湖、田沢湖、八郎潟を代表する三つの湖を結ぶ「三湖伝説」は龍に化身した人間のお話。

湖のある地域で語り継がれていた民話が、
やがて三湖を結ぶ壮大な物語となって今もお人々に新しいロマンを語りかけてくれます。



【1】

昔、むかし、鹿角に力自慢で大男の八郎太郎という若者がおりました。八郎は働き者で、心優しい親孝行息子でした。ある時、仲間と山へ「マダの木」の皮を取りに行くことになりました。山では、山で採ったものはみんなで分けるなど3つの決まりを守らなければなりませんでした。



【5】

それは、「南祖坊」が投げつけたもので、八郎は火を吹いて跳びかかりましたが、南祖坊は九つの頭の龍に姿を変え、七日七晩、八郎に襲いかかった為、ついに力尽きて、十和田湖を追い出されました。その後、たどり着いた場所で作った湖が八郎潟です。八郎は湖と海を繋ぎ、魚を増やし、まわりの住民もとても喜びました。



【2】

何日も山で「マダの木」の皮取りを続けていたある日、ご飯当番の八郎が、川で岩魚を3匹捕まえました。すると、岩魚が「卵を産んだら、ここに戻ってくると約束するから離してくれ」とお願いしましたが、八郎はかまわず岩魚を串刺しにして焼き、その旨そうな香りに我慢できずに仲間の分まで全部食べてしまいました。



【6】

そんなある日、カモが飛んできて、「田沢湖に人間から龍に化身した、たつこ姫という美しい方がいて、八郎の話をしたら、会いたいそうですよ」と話しました。そこで、八郎潟に氷がはったら会いに行く事にしました。出会ってみると二人とも、一目でお互いを好きになり、冬の間は田沢湖で暮らすようになりました。



【3】

すると、急に喉が乾いて川の水を飲んでいううちに、ドドッ、ドドッ体が膨れあがって、体がウロコに覆われた巨大な龍になっていました。やがて、「マダの木」を背負って戻ってきた仲間が「八郎、戻ったぞー」と呼びましたが、龍になった八郎が「おらだー」と叫んでも仲間は龍の姿に驚いて逃げそうになるほどでした。



【7】

そこへまた現れたのが、南祖坊です。幸せそうな二人を見て、邪魔をしに来たのですが八郎とたつこは力を合わせて、南祖坊を追い払いました。やがて春になり、山の雪が解けだすと八郎は八郎潟を守る為に帰らなければなりません。たつこは別れが惜しくて、「来年も必ず来て下さいね」と琴を弾いて見送ったということです。



【4】

しかし、八郎に龍になった訳を聞いたところ「岩魚の願いも聞かず、山の掟も破って、仲間の魚を全部食べたせいだ…」と語り、両親を仲間に頼んだ後、水をせき止めて湖をつくりました。それが十和田湖です。長い年月、十和田湖の主であった八郎でしたが、ある日「鉄のわらじ」が体に突き刺さり激しい痛みがはりました。



【8】

八郎太郎が帰ってくればギシギシときむ音を立てて、八郎潟の氷が一晩で割れると信じられており、村人は夜中にその音を聞けば「あー、八郎帰ってきたな」と思うのだと、今に伝わっています。八郎太郎のいない冬の八郎潟は凍り、田沢湖は二人の愛のように年々深くなり、日本一深い湖になったといわれています。

※マダの木(シナの木)…昔、木の皮から糸を取り、布をつくるために採取されていた木。

三湖伝説ゆかりの行事



八郎まつり【潟上市】

三湖伝説を地元で守り伝えようと開催。体長約64メートルの八郎龍が約80人に担がれ町を練り歩きます。クライマックスでは辰子龍と出会う、ロマンあふれる祭り。

■期間／8月第3日曜日
■問／潟上市観光協会
☎018-853-5336



たざわ湖・龍神まつり【仙北市】

恋仲になったたつこと八郎太郎の強い絆にあやかり、湖の変わりぬ安全をはじめ縁結び、家庭円満を祈願するまつり。2人の伝説にちなんだイベントや限定メニューなど盛りだくさん。

■期間／7月下旬または8月上旬の土曜日
■問／田沢湖観光協会
☎0187-58-0063

秋田県 MAP

青森県

至十和田市

十和田湖



八郎湯

田沢湖

岩手県

山形県

※掲載情報は、平成30年1月1日現在のものです。内容については変更となる場合もありますので、ご利用の際は事前にご確認ください。

周辺の観光スポット



康楽館【小坂町】

明治43年(1910)に誕生した芝居小屋。回り舞台など伝統的な仕掛けが残っており、今でも歌舞伎などを上演し観客を楽しませている。

■問/☎0186-29-3732



大湯温泉郷【鹿角市】

大湯川沿いに湧く開湯約800年の古湯。温泉は効能豊かで、江戸時代には南部藩の保養地になっていたほど。十和田観光の拠点に最適。

■問/協同組合大湯温泉観光協会 ☎0186-37-2960



秋田犬会館【大館市】

国の天然記念物、秋田犬の生態や伝記、歴代名誉犬の写真などを展示。平日は館内に可愛い秋田犬がいるのでふれあうこともできる。

■問/☎0186-42-2502



なまはげ館【男鹿市】

「男鹿のナマハゲ」のしきたりや伝承を詳しく紹介。市内各地の「ナマハゲ面」が展示され、変身コーナーでは衣装を着て記念撮影も可。

■問/☎0185-22-5050



男鹿温泉郷【男鹿市】

塩分を含み、湯冷めしにくく保温成分の高い源泉が特徴。潮風を感じながら湯に浸かるのも一興。風呂上がりは名物「石焼料理」に舌鼓を。

■問/男鹿温泉郷協同組合 ☎0185-33-3191



道の駅てんのう【潟上市】

緑いっぱいの広場でアクティブに楽しもう。タワーからは園内が一望でき、レストランや新鮮な野菜・海産物の直売所などもあって家族で楽しめる。

■問/☎018-878-6588



角館 武家屋敷【仙北市】

江戸時代初期の町並みが残されており、まるでタイムスリップした気分。鮮やかなシダレザクラや新緑が黒板塀にひときわ映えて美しい。

■問/観光情報センター「角館駅前蔵」 ☎0187-54-2700



乳頭温泉郷【仙北市】

源泉も効能も異なる7つの湯宿が山奥に点在する、全国にファンが多い人気温泉郷。四季折々の景色と湯が日頃の疲れを癒やしてくれる。

■問/田沢湖観光情報センター「フォレイク」 ☎0187-43-2111

ドライブモデルコース

十和田湖・八郎潟「八郎太郎成長の足跡コース」【2泊3日】

| 1日目 | 2日目 | 3日目 |
|---------------------|-------------------|----------------------|
| 大館代官港 JR八戸駅 約90分 | 大湯温泉郷 ⑩ 約40分 | JR秋田駅 秋田空港 約40分 |
| 十和田湖(休屋) 約40分 | 大館 秋田大会館 約90分 | 潟上市 八郎足洗いの井戸 約20分 |
| 集宮神社 約10分 | 八郎潟 夫殿の岩窟 約60分 | 道の駅てんのう 約60分 |
| 八郎太郎生誕の地 約10分 | 男鹿真山伝承館 約15分 | 男鹿温泉郷 ⑩ 約40分 |
| 男鹿真山伝承館 約15分 | なまはげ館 約15分 | 男鹿真山伝承館 約15分 |

八郎潟・田沢湖「八郎太郎・辰子熱愛コース」【1泊2日】

| 1日目 | 2日目 |
|-----------------------|----------------------|
| JR田沢湖駅 秋田空港 約30分 | JR秋田駅 秋田空港 約60分 |
| 浮木神社 約10分 | 田沢湖 御座石神社 約10分 |
| 田沢湖 たつこ像・浮木神社 約30分 | 乳頭温泉郷 ⑩ 約40分 |
| 角館 武家屋敷通り 約60分 | 八郎足洗いの井戸 約10分 |
| 八郎足洗いの井戸 約10分 | 潟上市 八郎足洗いの井戸 約20分 |
| 角館 武家屋敷通り 約60分 | 寒風山回転展望台 約20分 |
| 田沢湖 御座石神社 約10分 | 田沢湖 御座石神社 約80分 |

十和田湖・八郎潟・田沢湖「三湖伝説 満喫コース」【2泊3日】

| 1日目 | 2日目 | 3日目 |
|---------------------|-------------------|-----------------------|
| 大館代官港 JR八戸駅 約90分 | 大湯温泉郷 ⑩ 約40分 | JR 秋田空港 約20分 |
| 十和田湖(休屋) 約40分 | 大館 大日神社 約40分 | 田沢湖 御座石神社 約80分 |
| 小坂鉱山事務所 約30分 | きみまち阪公園 約50分 | 田沢湖 御座石神社 約80分 |
| 康楽館 約30分 | 八郎潟 夫殿の岩窟 約60分 | 浮木神社 約30分 |
| 集宮神社 約10分 | 大瀧村千拓博物館 約40分 | 田沢湖 御座石神社 約80分 |
| 八郎太郎生誕の地 約10分 | 男鹿真山伝承館 約15分 | 角館 武家屋敷通り 約100分 |
| 男鹿真山伝承館 約15分 | なまはげ館 約15分 | 潟上市 八郎足洗いの井戸 約100分 |
| 男鹿真山伝承館 約15分 | 男鹿温泉郷 ⑩ 約40分 | 角館 武家屋敷通り 約100分 |
| 男鹿真山伝承館 約15分 | 大瀧村千拓博物館 約40分 | 田沢湖 御座石神社 約80分 |

観光に関するお問い合わせ

【秋田県全域】あきた旅のサポートセンター 018-860-2270(9:00~17:00 年末年始定休)

| 田沢湖・角館・大仙・阿仁森吉エリア | | | 白神山・能代山本エリア | | |
|-------------------|-----------------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 北秋田市 | 北秋田市観光物産協会 | 0186-62-1851 | 能代市 | NPO法人能代観光協会 | 0185-88-8802 |
| 大仙市 | 大仙市観光情報センター「グランボール」 | 0187-86-0888 | 能代市 | NPO法人二ツ井町観光協会 | 0185-73-5075 |
| 仙北市 | 仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」 | 0187-54-2700 | 八峰町 | NPO法人八峰町観光協会 | 0185-76-4100 |
| 仙北市 | 仙北市田沢湖観光情報センター「フォレイク」 | 0187-43-2111 | 藤里町 | 藤里町商工観光課 | 0185-79-2115 |
| 美郷町 | 美郷町観光情報センター | 0187-84-0110 | 三種町 | NPO法人三種町観光協会 | 0185-85-4830 |
| 秋田中央・男鹿・鳥海エリア | | | 十和田八幡平・大館エリア | | |
| 男鹿市 | 男鹿総合観光案内所 | 0185-35-5300 | 鹿角市 | 十和田八幡平観光物産協会 | 0186-23-2019 |
| 潟上市 | 潟上市観光協会 | 018-853-5336 | 小坂町 | 小坂まちづくり株式会社 | 0186-29-2821 |
| 八郎潟町 | 八郎潟町観光協会 | 018-875-5803 | 大館市 | 大館市観光案内所 | 0186-57-8120 |
| 大瀧村 | 大瀧村千拓博物館 | 0185-22-4113 | 横手・湯沢・栗駒エリア | | |
| 五城目町 | 五城目町商工振興課 | 018-852-5222 | 横手市 | (一社)横手市観光推進機構 | 0182-38-8652 |
| 秋田市 | 秋田市観光案内所 | 018-832-7941 | 湯沢市 | (一社)湯沢市観光物産協会 | 0183-73-0415 |
| 由利本荘市 | 観光情報案内コーナー(カダール内) | 0184-22-2660 | 羽後町 | 羽後町観光物産協会 | 0183-55-8635 |
| にかほ市 | (一社)にかほ市観光協会 | 0184-43-6608 | | | |

秋田の観光情報は

秋田県観光総合ガイド「あきたファン・ドット・コム」

<http://www.akitafan.com/>

あきたファンドットコム

検索

秋田の観光・交通案内アプリ アキタノNAVI

ダウンロードページはこちら！

県内のバスや鉄道、乗合タクシーなどの公共交通情報や観光施設・イベント情報、おすすめの見学ルート案内機能を搭載し、あなただけの旅行プラン作成をお手伝いします！



iphone▲

Android▲

発行：(一社)秋田県観光連盟 協力：三湖伝説連絡協議会